

1 ひょうごつまずきポイント 指導事例集について

『つまずきポイント』

〈小学校 国語〉

つまずき①

自分の考えをもつこと

学習内容について、自分の考えをもち、読んだり、表現したりすること。

関連する領域のつまずき 書くことア・ウ
読むことウ

つまずき②

目的と表現の関係をとらえること

相手に応じて、目的・意図等を踏まえて、話す・書く等、自分の考えを表現すること。

関連する領域のつまずき 話すこと・聞くことア

つまずき③

文や文章の構成・構造をとらえること

主語と述語のつながり、段落の関係、考えを表現する時の展開など、構造・構成について意識や理解すること。

関連する領域のつまずき 書くことイ
読むことア・イ
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア

つまずき④

文章の要旨・主題をとらえること

文章の内容等について、大筋や大切なことを整理してとらえること。また、要約して表現すること。

関連する領域のつまずき 書くことイ
読むことア・イ・ウ

つまずき⑤

目的や意図を意識して書くこと

自分の考えを表現するときに、相手や目的、意図を意識し、自分の考えを明確にして書くこと。

関連する領域のつまずき 書くことア・ウ

つまずき⑥

共通点や相違点を意識すること

話し合いの場面等において、共通点や相違点に着目すること、発言の意味を考えながら聞いたり、読んだりすること。

関連する領域のつまずき 話すこと・聞くことア・イ

〈中学校 国語〉

つまずき①

自分の考えをもつこと

学習内容について、自分の考えをもち、読んだり、表現したりすること。

関連する領域のつまずき 話すこと・聞くことイ・ウ
書くことア・イ
読むことア

つまずき②

日常生活や社会生活と結び付けること

自分の考えを表現する際、日常生活や社会生活とのかかわりを意識したり、学習したことを関連させたりすること。

関連する領域のつまずき 話すこと・聞くことア
書くことア
読むことア

つまずき③

語感や語彙を豊かにすること

語句や文、語彙などに興味を持ち、自分で主体的に調べるなどして、理解を深めること。

関連する領域のつまずき 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア

つまずき④

複数の条件を踏まえて書くこと

複数の資料や文章を比較して考えること。また、限定された条件を踏まえて書くこと。

関連する領域のつまずき 書くことウ

つまずき⑤

文章からキーワードを見つけること

文章の内容や展開から、要約したり要旨をとらえたりするための大切な文や言葉を見つけること。

関連する領域のつまずき 読むことイ

中学校 国語

つまずきにつながる学習内容の系統

領域におけるつまずき (太線は事例集に掲載している内容)

第3学年

第2学年

第1学年

小学校

話す・聞く

ア：日常生活や社会生活にかかわることについて話すこと

つまずき②

イ：相手や場に応じて自分の考えを話すこと

つまずき①

ウ：表現の工夫を評価して聞き、自分の考えをもつこと

つまずき①

社会生活にかかわることについて、考えをまとめ、説得力のある話をする

- 目的や話題に応じて自分の経験や知識を再構成して自分の考えをまとめる
- 聞いてわかりやすい語句や言葉遣い、資料の見やすさ・提示の仕方を考える

内容や表現の仕方を評価し、自分の考えにいかして聞くこと

- 相手の意見や主張の根拠を確かめながら聞く
- 聞いた内容を評価・検討し、自分のものの見方や考え方を直したり深めたりする

論理的な構成や展開を考えて話すこと

- 聞き手の反論や意見を予想して自分の考えをまとめる
- 話の中心的部分と付加的部分との関係に注意しながら話の構成や展開を工夫する

論理的な構成や展開等に注意して聞き、自分の考えと比較すること

- 話の中心的部分と付加的部分を分けて聞く
- 自分の考えとの共通点、相違点を考えながら聞き、納得できる・できないなどの判断をする

全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成して話すこと

- 意見の根拠となる事実の提示の仕方や各部分の組み立て方を考える
- 相手の反応を確かめながら話す

自分の考えとの共通点・相違点を整理して聞くこと

- 質問の適切な機会をとらえて、必要に応じて質問しながら聞く
- 話の全体と部分、事実と意見との関係に注意し、自分の考えと比べて共通点や相違点を整理する

目的や意図を意識して話すこと

- 聞き手が求めていることを考えて内容や構成を工夫する
- 効果的な資料の内容や提示の仕方を考える

共通点や相違点をとらえること

- 相手の意図や話の要点をまとめながら聞く
- 共通点や相違点、その理由を考えながら聞く

書く

ア：日常生活や社会生活にかかわることについて自分の考えをまとめること

つまずき①②

イ：論理の展開を工夫し、自分の考えを書くこと

つまずき①

ウ：複数の条件を踏まえて書くこと

つまずき④

社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めること

- 多様な方法で材料を集め、想定しなかった情報に出会ったときに別の角度から検討したり考えを改めたりする

文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること

- 説明や記録の文章、報告の文章、感想や意見の文章などの形態に合わせた構成を考える

論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして説得力のある文章を書くこと

- 「意見→根拠となる事実→具体の一般化→結論」といった論理の展開をもとに文章を書く
- 客観性や信頼性の高い資料を選んで用いる

社会生活の中から課題を決め、多様な方法で資料を集め、自分の考えをまとめること

- 人間、社会、文化、自然にかかわる課題を設定する
- 図書館や地域の公共施設などを利用して資料を集め、比較・検討しながら自分の考えをまとめる

自分の立場、伝えたい事実・事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること

- 話の冒頭や結末など、自分の考えを示す箇所を考える
- 自分の考えの根拠となる事実や事柄の示し方を考える

事実・事柄・意見・心情などを相手に効果的に伝えるように書くこと

- 説明や具体例を示したり表現する内容に最もふさわしい語句を選ぶなど描写を工夫したりする

日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること

- 目的や内容、伝える相手を具体的に考え、日常生活の体験や他教科等の学習から課題を設定する
- 本、新聞・雑誌、テレビ等を活用して材料を集める

段落の役割を考えて、文章を構成すること

- 書く目的や意図に応じて集めた材料を分類、整理する
- 時間的な推移や因果関係などをもとに、書く事柄のまとめ方や順序を考える

自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと

- 複数の事例や専門的な立場からの知見などを示す
- 接続語を使ったり段落構成を工夫したりして、根拠の部分の部分が明確になるように表現を工夫する

目的や意図に応じて書く事柄を整理すること

- 目的にあった資料(グラフや表、図、写真)を選ぶ
- 資料と文章を対応させて書く

文章全体の構成を考えること

- わかりやすく伝えるように小見出しを付けたり段落を分けたりする

事実と感想、意見などを区別して書くこと

- 事実や具体例、引用した内容と自分の考えを区別して文を書く

読む

ア：文章から、人間・社会・自然などについて考え、自分の考えをもつこと

つまずき①②

イ：論理の展開や場面の設定の仕方をとらえて「読む」こと

つまずき⑤

文章を読んで、人間・社会・自然などについて考え、自分の考えをもつこと

- 様々な文章に表されているものの見方や考え方にふれ、人間・社会・自然などについて考える
- 文章全体から、自分の立場や根拠を明確にした考えをもつ

文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定のしかたをとらえ、内容の理解に役立てること

- 書き手のものの見方や考え方を伝えるための、論理の展開の意図を読み取る
- 話の展開・内容と、場面や登場人物の設定とのかわりを考えながら、文章の全体を理解する

文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと

- 身に付けてきた知識や体験と関連付けて、賛否を明らかにしたり問題点を指摘したりする
- 書き手と自分のものの見方や考え方を対比したり置き換えたりしながら読む

文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること

- 叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているかを考えながら読む
- 情景や人物の描写、登場人物の言葉・行動と、作品のものの見方や考え方との関連を考えながら読む

文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること

- 書き手のものの見方や考え方に共感したり、疑問をもったり、批判したりしながら読む

目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること

- 文章の中心的部分と付加的部分を分けて読む
- 段落ごとの内容や段落相互の関係を考えながら読む

場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むこと

- 時間的、空間的な場面の展開や、登場人物の心情や行動、情景描写を表す言葉を手がかりにしながら読む

優れた叙述について、自分の考えをまとめること

- 場面や風景をもとに人物像や心情の変化を読み取る

文章の要旨・主題をとらえること

- 事例やそれに対する意見を整理し、関連を考える、自分の知識や経験と重ねながら読む

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえること

- 効果的な表現について自分の考えを書く

国語の特質に関する事項

ア：語感や語彙を豊かにすること

つまずき③

慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにすること

- これまでに学習してきた慣用句、四字熟語、和語・漢語・外来語に関する知識を広げる

類義語と対義語などについて理解し、語感を磨き、語彙を豊かにすること

- 抽象的な概念を表す語句、類義語、対義語、同音異義語、多義的な意味を表す語句に関する知識を広げる

語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨き、語彙を豊かにすること

- 本を読んで出会った言葉について、辞書にある様々な意味から文脈に合う意味を考える
- 調べた語句を使って短文を作る

文章の中での語句と語句との関係を理解すること

- 説明的な文章や文学的な文章特有の表現を理解する

小学校 国語

つまずきにつながる学習内容の系統

領域におけるつまずき (太線は事例集に掲載している内容)

高 学 年

中 学 年

低 学 年

話し合い・聞く

ア：相手の意図をつかみながら、目的や意図を意識して話すこと **つまずき②⑥**

イ：共通点や相違点をとらえること **つまずき⑥**

書く

ア：体験したことや、興味があること、考えたことの中から書きたいことを決め、自分の考えが伝わるように書くこと **つまずき①⑤**

イ：文章の要旨・主題をとらえ、文や文章の構成・構造を考えて書きまとめること **つまずき③④**

ウ：目的や意図を明確にして書くこと **つまずき①⑤**

読む

ア：文章の「構成や構造」「要旨や主題」をとらえること **つまずき③④**

イ：文章を読んで考えたことを伝え合い、自分の考えを深めること **つまずき③④**

ウ：場面の移り変わりや登場人物の心情の変化をとらえ、自分の考えをまとめること **つまずき①④**

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

ア：語彙やことばのきまりについての知識・理解 **つまずき③**

目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら話すこと
・聞き手が求めていることを考えて内容や構成を工夫する
・効果的な資料の内容や提示の仕方を考える

自分の考えと比べ、共通点や相違点に関連して、考えたことを整理して聞くこと
・相手の意図や話の要点をまとめながら聞く
・共通点や相違点、その理由を考えながら聞く

互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと
・目的を意識しながら話題に沿って話し合う
・立場や主張する内容を明確にして話し合いに参加する

事実と感想、意見などを区別して書くこと
・事実や具体例、引用した内容と自分の考えを区別して文を書く

自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考えて書くこと
・わかりやすく伝わるように小見出しを付けたり段落を分けたりする

引用したり、図表やグラフ等を用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと
・目的にあった資料(グラフや表、図、写真)を選ぶ
・資料と文章を対応させて書く

要旨や、事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながらかくこと
・事例やそれに対する意見を整理し、関連を考える
・自分の知識や経験と重ねながら読む

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について、自分の考えをまとめること
・場面や風景をもとに人物像や心情の変化を読み取る
・効果的な表現について自分の考えを書く

本や文章を読んで考えたことについて伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすること
・読んだ本をもとに、人物の生き方について話し合う
・話し合い後の自分の考えの変化を振り返る

文章の中での語句と語句との関係を理解すること
・類義語、対義語、上位語・下位語、派生語
・説明的な文章や文学的文章特有の表現を理解する

文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること
・主語・述語が一組の文、二組の文(単文、複文、重文)
・話し言葉・書き言葉による文

理由・根拠・事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと
・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで話す
・絵や写真、グラフなどを見せながら話す

必要な事柄について要点をとらえてメモすること
・話し手が一番伝えたいことに気を付けて聞く
・記号や短い言葉を使ってメモをする

互いの考えの共通点・相違点を考え、司会等の役割を果たしながら、話し合うこと
・議題に沿って話し合いを進める
・司会者や参加者の役割を考えて話し合いに参加する

目的や必要に応じて、理由や事例を挙げて書くこと
・誰に伝えるのかをはっきりさせる
・自分の考えの理由とそれに関係する事例を書く

段落相互の関係(役割・つながり)を注意して文章を構成すること
・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで書く
・内容のまとまりごとに段落を分けて書く

収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書くこと
・説明する文章の内容に合う写真や具体例を添える

段落相互の関係や事実と意見の関係を考えながら読むこと
・「対比」「まとめ」等、段落相互の関係を考えながら読む
・事実と意見を整理する

場面の移り変わりに注意しながら叙述をもとに想像して読むこと
・場面ごとの出来事や変化したことを読み取る
・文章に書かれていない事柄を想像しながら読む

文章を読んで感じたことについて伝え合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと
・心に残る言葉や文を理由を付けて紹介する
・友達の発表を聞いて、考えたことや感想を書く

指示語や接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解して使うこと
・指示語が文の内容とつながっているかを考える

文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること
・修飾語によって文の内容が詳しくなることを理解する
・一文を主語、述語、修飾語に分ける

事柄を順序立てて話すこと
・「どうしてかという」と使い、理由を付けて説明する
・一番伝えたいことを最初に話す
・「いつ」「どこで」「誰が」「何を」を使って説明する

大事なことを意識して聞くこと
・相手の方を向いて話を聞く
・わからないことを質問する
・大事なことを落とさないようにメモを取る

自分の考えを明確にして書くこと
・体験で感じたことを書く
・嬉しかったことや楽しかったことを書く

時間や事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えて書くこと
・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで書く
・内容のまとまりを考えて書く

語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと
・事柄の順序に沿って、つながりを考えて文章を書く

時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読むこと
・問いとそれに対する答えを見つける
・時間や内容の順序に気を付けて内容を整理する

場面の様子について、想像を広げながら読むこと
・登場人物の言動から、その時の様子を考える

文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の考えをまとめること
・登場人物の言動に気を付けて読み、感想を書く
・気に入った場面とその理由を書く

文の中における主語と述語との関係に注意すること
・文から主語と述語を探す
・主語と述語を組み合わせて文を書く

句読点の打ち方や、かぎ(「」)の使い方を理解して、文章の中で使うこと
・丸(。)点(、)かぎ(「」)を使って文を書く